

安全データシート

硫酸亜鉛（乾燥）

1. 化学物質及び会社情報

化学物質の名称	硫酸亜鉛（乾燥）
会社名	日本農産工業株式会社
住所	神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1 ランドマークタワー46F
担当部署	品質保証部
電話番号	045-224-3753
FAX 番号	045-224-3754
緊急時の電話番号	同上
用途	飼料または飼料添加物
使用上の注意	なし

1. 化学物質名及び会社情報

化学物質の名称	硫酸亜鉛（乾燥）
会社名	ニッチク薬品工業株式会社
住所	神奈川県綾瀬市早川 2630 番地
担当部署	品質保証部
電話番号	0467-78-0831
FAX 番号	0467-76-1016
緊急時の電話番号	同上
用途	飼料または飼料添加物
使用上の注意	なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分に該当しない

健康有害性	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（呼吸器、消化管）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（消化管）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 1
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素



絵表示または
シンボル

注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込むと有害

重篤な眼の損傷

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ<呼吸器、消化器>

長期にわたる、または反復ばく露による臓器<消化管>の
障害

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

使用前にすべての安全説明書入手し、読み、従うこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用する
こと。

【応急措置】

飲み込んだ場合：医療処置を受けること。

眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その
後も洗浄を続けること。

ばく露またはその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置
を受けること。

医療処置を受けること。

ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求める
こと。

気分が悪い時は、診察を受けること。

口をすすぐこと。

漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	硫酸亜鉛一水塩
慣用名又は別名	硫酸亜鉛（乾燥）
化学物質を特定できる 一般的な番号	CAS No. 7446-19-7 (7733- 02-0)

成分及び濃度又は濃度 範囲	$\text{ZnSO}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}$ Zn : 36%以上、 ZnSO_4 : 89%以上
官報公示整理番号	1-542（化審法・安衛法）

4. 応急措置

吸入した場合	鼻をかみ、うがいをする。必要があれば医師の手当てを受け ける。
皮膚に付着した場合	石けん水で洗浄し、多量の水にて洗い流す。
眼に入った場合	多量の水で洗い流し、必要があれば、医師の手当てを受け る。
飲み込んだ場合	多量のぬるま湯、または薄い食塩水で胃を洗浄し、医師の 手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症 状の最も重要な徴候症 状	情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	情報なし。
使ってはならない消火 剤	情報なし。
特有の消火方法	燃焼性はない。可能であれば容器を火災区域から移動させ る。不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却すると 同時に、溶出品を石灰などのアルカリで中和し回収する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	情報なし。
環境に対する注意事項	水に溶けた場合、溶液を回収し、中和剤により沈殿させ、廃水処理を行う。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	破袋の場合は、飛散したものをできるだけ回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	取り扱い中は必要に応じて防じんマスク、保護手袋、保護衣類を着用する。
安全取扱注意事項	情報なし。
保管	
安全な保管条件	容器は、密閉して一定の場所を定めて保管する。鍵を掛けられる倉庫が望ましい。水に濡らさないこと。直射日光を避け、夏季は冷所保管が望ましい。
安全な容器包装材料	情報なし。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	情報なし。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）	鉱物性粉じんの管理濃度に準ずる。
設備対策	取り扱い場所に局所排気装置を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	情報なし。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣類を着用する。

特別な注意事項 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	白色
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	約 200℃ですべての結晶水を失う。500℃以上で分解する。
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水：36.49w%（25℃飽和水溶液 100g 中の無水化合物の質量）グリセリンに溶解。アルコールに不溶。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	大気中の水分の存在により酸性反応が強くなり、鉄などの金属を腐食する。 水溶液は酸性を示し、鉄などの金属を腐食する。また、アルカリと中和反応を起こす。
化学的安定性	乾燥大気中で風化し、結晶水を失いやすい。 湿潤大気中で潮解しやすい。

	引火性、発火性、可燃性、爆発性なし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口	(LD ₅₀) 1,180 mg/kg (マウス：経口/7 水塩)
経皮	データなし
吸入	データなし
(蒸気・粉じん・ミスト)	
皮膚腐食性／刺激性	薬傷をおうことがある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼など粘膜についた場合、強い痛みを伴う刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境急性有害性：区分 1 水生生物に非常に強い毒性
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	水生環境慢性有害性：区分 1 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、
当該化学品が付着して
いる汚染容器及び包装
の安全で、かつ、環境
上望ましい廃棄、又は
リサイクルに関する情
報

特定の業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 3077

輸送又は輸送手段に関
する特別の安全対策 破損しにくい容器に入れて輸送する。
破袋などした場合は漏出品を回収する。

国内規制がある場合の
規制情報 非該当

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質管理促進法 （PRTR 法）	第一種指定化学物質 1 号 亜鉛の水溶性化合物
労働安全衛生法	第 57 条名称などを表示すべき対象物質（表示対象物）
毒物及び劇物取締法	劇物
飼料安全法	飼料添加物（硫酸亜鉛（乾燥））

16. その他の情報

この安全データシートは、プレミックス研究会が作成した安全データシートを基に、厚生労働省職場のあんぜんサイトのモデル SDS 情報、NITE-CHRIP、GHS 文書を参考に修正を加えたものです。

すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定してお

り、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- 作業環境評価基準（昭和 63 年 9 月 1 日労働省告示第 79 号）
- 食品添加物公定書解説書（1987 年）
- 13197 の化学商品（化学工業日報社）
- 毒物劇物取扱いの手引き（時事通信社）
- 毒物劇物取扱必携（長野県衛生部薬務課）
- 1 万 3 千種化学薬品毒性データ集成（海外技術資料研究所）
- 産業中毒便覧（医歯薬出版）
- （独）製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果 硫酸亜鉛、ID247
- 日本化学工業協会化学物質安全性評価シート

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2026 年 8 月 1 日	—